



	3月				4月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
本年	21.2	15.6	18.4	124.5	23.3	17.5	20.6	174.5
平年	20.7	14.3	17.5	113.5	23.0	16.8	19.9	134.9
平年との差	+0.5	+1.3	+0.9	+11.0	+0.3	+0.7	+0.7	+39.6

製糖終了の御挨拶

生和糖業株式会社
取締役工場長 肥後 剛
(ひご つよし)

肥後工場長は、昭和34年生まれ湾出身の島っちゃんです。
自らも、一生産者としてキビ作りに励んでいます！
気さくでユーモアがあり、とても優しく頼れる工場長です。
島の事も良く分かっているので、皆さまにも心強いと思います。

皆さん、さとうきび収穫作業大変お疲れ様でした。
昨年12月10日から始まった今製糖期は、3月17日に無事操業終了いたしました。
生産量76,000トンを見込み年内操業開始しましたが、残念ながら前期同様相次ぐ台風による様々な要因から61,068トンと過去3番目に低い生産量となり大変厳しい製糖期になりました。
操業期間93日の間天候要因などにより収穫作業にも大きく影響し圧搾処理も750トン/日当たりとなりました。品質は、前期より1.14度高い13.33度でしたが平年並みとは行かず生産量同様に品質取引制度が始まって以来の過去3番目に低い年でありました。
一方、さとうきび収穫作業・運搬作業においては大きな事故もなく、無事製糖終了日を迎えることが出来たことは何よりもありがたいことだと思います。
昨年は低糖度、今年は生産量減という2年連続で大変厳しい状況になりましたが、来期こそは豊作になるよう皆さんと共にさとうきび増産に取り組む喜界島の基幹産業であるさとうきびを守っていきましょう。
工場も、これから十分な整備を実施して来期も安定操業出来るように取組んでいく所存です。
そして喜界島の発展の為に当社も頑張っていりますので、今後も引き続き御協力頂きます様、よろしくお願い申し上げます。

第60期 製糖終了

第60期(2018/2019年)の製糖も3月16日で無事搬入終了となりました。
農家の皆様、各関係機関の方々、大変お疲れ様でございました。
また、来期に向けて連携を取り合い頑張っていきたいと思います。

キビ搬入を無事に終えた事、御礼申し上げます。
工場においては、厳しい操業期間であったと思いますが、まずは安心・安全に終了を迎え喜びたいと思います。当初の見込みより大幅におちた要因については今後、分析して来年に向けた取組みをやっていただけたらと思います。
来年こそは豊作に向けみんなで努力していきましょう。



喜界町 町長
川島 健勇

無事に搬入終了し、事故が無かった事が一番！
残念ながら昨年、今年と大変厳しい状況の様ですが皆様が力を合わせ来期の生産体制を作ったいただき、土作り・肥培管理を改めて見直し、協力しあい来期も頑張っていきたい。



JAあまみ喜界事業本部 統括理事
源久 幸一

◆◆◆ 収穫面積・生産量の推移 ◆◆◆

作 型 各 年	夏 植			秋 植			春 植			株 出			合 計		
	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量
	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t
今期(H30/31)	13,907	6,178	8,592	8,565	5,918	5,069	14,935	4,288	6,404	93,121	4,403	41,003	130,528	4,679	61,068
H29/30	19,535	7,616	14,879	8,392	6,390	5,362	14,157	4,944	6,999	99,860	5,267	52,597	141,944	5,625	79,837
前期との差	-5,628	-1,438	-6,287	173	-472	-293	778	-656	-595	-6,740	-864	-11,594	-11,416	-946	-18,769
H28/29	26,633	8,796	23,428	11,124	7,491	8,333	14,682	6,325	9,287	89,467	6,124	54,787	141,906	6,753	95,834

◆◆◆ さとうきびの買入糖度・買入価格・トラッシュ率・歩留の推移 ◆◆◆

項 目 各 年	買入糖度 (%)	糖度帯 (%)			平均買入価格 (交付金込)	対前年比 (%)	トラッシュ率 (%)	工場歩留 (%)
		基準以下	基準内	基準以上				
今期(H30/31)	13.33	40.0	40.9	19.1	21,051	104.6	10.35	11.45
H29/30	12.19	77.8	18.0	4.2	20,126	88.2	7.11	10.29
H28/29	14.29	12.3	39.0	48.7	22,825	103.3	9.36	12.19

収量確保のための5つのポイント

ポイント①

適期・適切な植付け、管理作業を行いましょう！

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春 植		植付適期		中耕・培土（追肥）								
夏 植						植付適期	中耕・培土（追肥）					
秋 植			中耕・培土（追肥）					植付適期	中耕・培土			
株 出			管理適期	中耕・培土（追肥）								

作 型	植付・株出管理 適期
春 植	2月中旬～3月中旬
夏 植	7月下旬～9月下旬
秋 植	10月上旬～11月中旬
株 出	収穫後1週間以内

施肥は、適正な
タイミングと
種類・量がポイント！



中 耕		培 土	
雑草の繁茂 程度を見なが ら随時行う (最低2～3 回)	1 回 目	時 期	仮茎長が30cm程度
		培土の高さ	畦崩し～5cm程度
	2 回 目	時 期	仮茎長が50cm～70cm程 度(直前に追肥を施用す ることが効果的)
		培土の高さ	15cm～20cm

ポイント②

芽をしっかりと出させて、茎数を確保しましょう！

- 健全な芽をもつ苗を準備する。
- 植付前に水または石灰水(500倍液)に12時間程度浸漬し、発芽を促進する。
(植付直後の夕方散水で出芽向上を図る)
- 目標発芽数(m当り春植8本、夏植6本(畦幅120cmの時))を確保する。
(欠株は、萌芽状況を見てすみやかに補植する)
- 補植用苗を準備する。
- 次年度用の採苗ほを準備する。

ポイント⑤

品種の特性に合わせて植付けよう！

	発芽性	株出 萌芽性	風折 抵抗性	干ばつ 耐性	黒穂病	さび病
農林27号 (Ni27)	良	やや良	中	弱	中	強
農林23号 (Ni23)	良	良	弱	強	弱	やや強

ポイント③

圃場内・畦畔に雑草を生やさないようにしましょう！

- 雑草が発芽するまでに土壌処理を行う。
- 雑草の発生状況に応じて中耕作業を優先して行う。
- 茎葉処理剤散布する場合は、雑草の種類や草丈
を見て農薬を選ぶ。
- 除草剤は、さとうきびの茎頂、葉に付着すると生育を
阻害する。
- 除草剤と殺虫剤の混用は、生長が抑制されるので
行わない。

茎葉処理剤（雑草茎葉に散布）の使用量と対象雑草

除草剤名	10a当りの使用量	メヒシバ	タチスズメノヒエ	ノゲシ	カタバミ	ホシアサガオ	ハマスゲ	タチアワユキ センダングサ
アージラン液剤	薬剤 800～1000mℓ 水量 150～200ℓ	○	◎	○	△	×	△	○
2、4-Dアミン塩	薬剤 300～500g 水量 100～150ℓ	×	×	○	△	◎	△	○
センコル水和剤	薬剤 100～150g 水量 100ℓ	△	○	○	◎	×	△	○
シャドー水和剤	薬剤 100～200g 水量 100ℓ	×	×	○	×	×	◎	×

2. 4Dアミン塩は使用時期
収穫90日前を厳守する！



ポイント④

圃場の見回りをを行い、害虫被害を未然に防ぎましょう！

害虫名	写真	農薬名
ハリガネムシ類		プリンスベイト、ダントツ粒剤 アドバンテージS粒剤
メイチュウ類 (イネヨトウなど)		サムコルフロアブル10 オンコルOK粒剤、プレバソン粒剤 プリンスベイト、アドバンテージS粒剤 スミチオン乳剤
チンチバク (カンシャコバネナガカメムシ)		スミチオン微粒剤、スミチオン乳剤 ダントツ粒剤
カンシャワタアブラムシ		スミチオン乳剤



葉鞘内へ十分に薬液
を浸透させるために
梢頭部から丁寧に散
布する。

粒剤は散布後
土壌混和する。



土壌混和とは溝や株元に薬をばらま
くのではなく、まいた後に中耕など
を行い、土に混ぜ込むことです。

基本技術を十分に行うことで、気象変動に左右されにくいキビづくり！！

気象庁は、異常気象をもたらすエルニーニョ現象が今夏まで続く可能性が70%と高いとし、「集中豪雨など大雨のリスクは例年より高い」と警鐘を鳴らす。甚大な被害をもたらした過去の集中豪雨は、6月末から7月に発生している。刻々と変わる気象情報は、こまめにチェックしよう。今日、明日の天気予報だけでなく、長期的な情報を自ら「取りに行く」という意識が重要だ。農家は気象情報をさとうきびの管理や植付時期などの経営に生かすべきだ。